

# 一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

## 令和6年度第8回 理事会議事録

日時：令和6年9月9日(月)14:00-15:30

場所：慶應義塾大学医学整形外科学教室/Zoom

【出席した理事】相澤俊峰、伊藤康夫、今釜史郎、川口善治、國府田正雄、須田浩太、高橋寛、竹下克志、永島英樹、中村雅也、播広谷勝三、藤原靖、細金直文、宮腰尚久、吉井俊貴、渡辺雅彦

【出席した監事】岩崎幹季、前田健

### 【議事の経過の要領及びその結果】

理事長・中村雅也が議長となり、開会を宣して議事に入った。

### 1. 審議・決議事項

#### ①. 令和6年度第7回理事会議事録の確認

修正等ある場合は事務局へ一報する。

#### ②. 8月の入退会について（メンバーシップ・コンプライアンス委員会）

委員会では全員承認であった旨報告があり、一同検討の結果、承認した。

#### ③. セメントPS合併症周知文書について（新技術評価検証委員会）

合併症が発生した事実のみを記載して、症例が特定できない表現とした文書に修正したことが報告され、一同検討の結果、承認し、HPに掲載して会員へ周知することになった。

#### ④. JOA 100年プロジェクト教育ビデオ作成について（広報委員会）

日本整形外科学会からの研修医向け教育ビデオ制作依頼に対して、一同検討の結果、「側弯症の診断・診察」（慶應義塾大学：渡邊航太）、「脊髄損傷の初期診療」（総合せき損センター：前田 健）、「椎間関節ブロック」（福島県立医科大学：加藤欽志）、「仙腸関節ブロック」（東北医科薬科大学：小澤浩司）で承認された。

#### ⑤. 第22回脊椎脊髄外科専門医試験申し込み状況について（専門医制度委員会）

専門医資格を取得していない指導医のうち、申し込み済みが34名、申し込みしないと回答したものが12名、回答がないものが42名で、海外留学中の指導医については、NSJにも了解を得て特別な事情として受験猶予を認めた。経験症例数は申請要件を満たすもののその他の要件を満たさない会員（非指導医）について、特例として受験資格を認めてほしいと嘆願書が提出されたが、制度上認められないと判断したと報告された。一同検討の結果、承認した。

#### ⑥. その他

##### 1) 日本腰痛学会の全国調査結果の報告について

日本腰痛学会大鳥理事長から、2023年度に実施した腰痛に関する全国調査結果を本学会HPやNLを利用して会員に周知したいと要望があり、一同検討の結果、承認した。

## 2) 脊髄モニタリング委員会

今年度の脊髄モニタリング認定医審査の結果、23名中22名が合格となったことが報告され、一同検討の結果、承認した。

## 3. 審議・報告事項

### ①. 指導医制度委員会報告

脊椎脊髄外科指導医の有効期限が2025年3月31日までとなっている指導医を対象に更新申請を受付けた結果、「継続」申請者が198名、「継続猶予」申請者が4名、「名誉指導医」申請者が4名であったと報告された。

### ②. 広報委員会報告

学会HPの大幅な改訂には時間を要するため、当面は必要最低限の改修を早急に進めていくことが報告された。

### ③. 新技術評価検証委員会報告

#### 1) BKP・VBS適正使用指針第1版について

日本脊髄外科学会とPMDAとの合同会議で最終合意が得られたため、本学会HPに公開することが報告された。

#### 2) LLIF適正使用指針（第2版）について

日本脊髄外科学会とPMDAとの合同会議で最終合意が得られたため、本学会HPに公開することが報告された。

### ④. 教育研修委員会報告

教育研修コースで加入している保険会社から情報漏えいがあったことが報告されたが、会員の個人情報は含まれていないことから学会として対応は不要として理事会で情報が共有された。

### ⑤. ヒストリアン委員会報告

#### 1) JSSR50周年記念誌について

2025年4月の学術集会時に配布予定として編集作業を進めていたが、8月末に東京で行う予定であった校正作業が台風のために延期となったので、3か月程度遅れる見込みであると報告があった。

#### 2) 日本整形外科学会100周年記念誌の執筆依頼について

本学会の歴史について執筆依頼があり、締め切り期限が迫っていたため原稿をすでに作成したと報告があった。

### ⑥. JSR編集委員会報告

学会誌JSRで査読システムを導入することについて全6学会から同意を得たので、来年度から開始を予定していることが報告された。

### ⑦. その他

1) 高橋理事から、内視鏡下腰椎椎体間固定術に対して前方後方の合併症手術として保険請求している施設があることに対し意見が求められた。伊藤理事から、全国整形外科保健審査委員会会議でも同様の問題が指摘されていると報告があった。細金理事から、社会保険等システム検討委員会と脊椎内視鏡検討委員会で合同委員会を開催し、要望を提出するうえで統一した名称を決めること等を検討していることが報告された。

2) 次回の理事会開催日：10月17日（木）12：45-14：45(現地/web) 新宿住友スカイルーム Room 4 にて

以上

令和6年9月9日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 理事長 中村雅也

監事 岩崎幹季

監事 前田 健